502万円

前年比6.6%（27億2千万円）の増額

３月定例議会は２月22日に開会され、会期を３月12日までの19日間としました。

25年度予算のほか、廿日市市国民宿舎事業の設置等に関する条例改正、24年度補正予算など54件の議案が提出されました。最終日には、「公有水面埋立てに関する諮問の回答について」など５件の追加議案及び議員発議による意見書提出のほか、一般会計予算に対する修正案も提出されましたが、いずれも原案どおり可決しました。

廿日市市役所

予算特別委員会の主な質疑

一般会計　歳入

Q 税収の減額見込みの主な理由は。

A 個人市民税は、給与所得の減少と、団塊世代の退職に伴う所得割額の減額、法人市民税は、法人税率が引き下げられたことで減収を見込んでいる。

さらに固定資産税及び都市計画税は、土地価格の下落に伴う評価額の下方修正が主な理由。

一般会計　歳出

Q 自主運行バス購入費の内容は。

A 大野地域は、34人乗りの低床バスを、吉和地域では12人乗りのワゴン車を購入する予定としている。

佐伯地域は、吉和の車両を移行し、もう1台の車両は、有利な財源が確保できれば購入したい。

Q 25年度予算を執行した場合の経常収支比率と実質公債費比率の見込みは。また、24年度末の見込みはどうか。

A 25年度予算を執行した場合の経常収支比率は94・5％程度、実質公債費比率は10・2％程度の見込みである。24年度は経常収支比率が95％程度、実質公債費比率が10・1％程度の見込みである。

指定管理者への指導強化を図れ

Q アルカディア・ビレッジの指定管理者が途中辞退する問題を受け、指定管理者制度の検証はどうか。

A 指定管理者制度が導入されて8年が経過し、来年に向けてガイドラインを整理しているが、業者との定期的な協議や状況把握をポイントに重点的に今後も取り組んでいく。

Q 特定健康診査の受診率は目標が、24年度は65％であったものが、25年度には30％になっている理由は。

A 24年度は国が受診率65％を指示していたが、25年度からは都道府県ごとに目標設定することになっている。県が45％に設定していたため、本市も29年度までに45％を目指し、25年度は30％を目標としている。

各会計別予算額《総括》

（単位：千円・％）

会計名	年度	予算額	伸び率
一般会計		43,660,000	6.6
特別会計	国民健康保険	12,837,389	2.4
	介護保険	8,204,143	2.5
	後期高齢者医療	1,348,350	3.8
	漁港管理	22,206	△53.8
	公共下水道事業	4,565,645	△0.3
	小規模下水道事業	201,285	42.1
	工業団地下水道事業	－	皆減
	墓地管理事業	30,340	4.8
	簡易水道事業	955,102	△16.2
	農業集落排水事業	32,232	△4.8
	港湾管理事業	27,532	0.4
	包ヶ浦観光事業	53,622	0.5
	市営住宅事業	553,458	91.9
	宮島水族館事業	994,469	△18.1
	廿日市駅北土地区画整理事業	483,418	△42.8
	小計	30,309,191	0.0
企業	水道事業	3,300,635	15.4
	国民宿舎事業	435,185	48.0
	小計	3,735,820	18.4
合計		77,705,011	4.4

3月定例議会　25年度予算を可決

全会計総額777億

一般会計予算は436億6千万円

予算特別委員会

Q 国民宿舎みやじま杜の宿の改修工事を行う箇所の減価償却年数と、改修後の減価償却費の全体の見込み額はどのくらいか。

A 改修工事は空調給湯設備・外壁・屋上防水・浴室改修を予定している。

減価償却年数は、機械類が15年、建物関係はこれまでの償却年数が1～2年伸びると考えられる。

また、改修後の減価償却費の見込み額は、改修後全体で年間2700万円程度になる。

予算審査で議論が白熱　一般会計、特別会計、企業会計で討論を応酬

一般会計予算に修正案が提出

最終日の本会議で、一部の議員から、一般会計予算修正案が提出されましたが、採決の結果、否決としました。

修正案の内容

アルカディア・ビレッジに関する修繕費、指定管理料及び、それに伴う27年度までの債務負担行為を削除し、歳入歳出をそれぞれ減額する。

修正案への反対討論

▼4社の指定管理の応募があり、魅力ある資源ということ。これを生かすことが必要である。

修正案への賛成討論

▽市がお金を出して本当にすべきことは何か選別する時期に来ている。公共施設の在り方について方針を出すべきである。

反対討論

一般会計

▼下平良二丁目の埋立地へのイズミ誘致は、ゆめタウンに一極集中し、市内経済の活性化につながらない。また、宮島サービスエリア・スマートインターチェンジの工事は不要不急であり、反対する。大野の一体型小中一貫教育では、自校式給食がなくなることを含めて問題がある。学校の学力調査を続ける姿勢にも反対する。

市民サービスを維持する上で、職員を削減する予算には問題がある。

国民健康保険特別会計

▼市が一般会計からの繰り入れの努力をしてきているところは評価し認めるが、国保税を市民が払える状況にない。

国民宿舎事業会計

▼安価で宿泊できる民間施設はたくさんあり、厳しい財政の中、指定管理者制度を導入してまで運営を継続すべきでない。民間への売却検討を第一とすべき。2億円の改修で15年のリスクを背負う予算案には反対。

賛成討論

一般会計

▽第5次総合計画の都市像を実現するために、限られた財源を有効に使うための予算である。

イズミの誘致は、以前から総合計画に示されており、宮島サービスエリア・スマートインターチェンジも観光客や通勤者に不可欠な施設である。将来のごみの有料化の検討、教育研究、地域支援員の増員、職員の人材育成に関する予算も盛り込まれており賛成する。

国民健康保険特別会計

▽24年度から2年連続の増税回避を行った。本予算を否決することになれば、増税回避も否定することになる。

国民宿舎事業会計

▽土地を国と神社から貸借しており、施設の売却は非常に困難である。また、建物改良資金も6億円貯めており、企業会計としては赤字ではなく、一般会計から繰り入れは行っておらず健全経営である。